

特定非営利活動法人つくばいきものSDGs

公園で学ぶつくばの生物多様性「冬の洞峰公園 鳥観隊」

洞峰公園は、つくば市街地のほぼ中央に位置し、市内外から年間50万人を超える方々が利用する公園でありながら、様々な希少動植物が生育・自生しています。特に、冬の洞峰沼には絶滅危惧種を含む複数の種類の水鳥が飛来します。

多くの市民が訪れる週末に、双眼鏡を用いて野鳥の行動や生態をつぶさに観察するイベントを開催します。イベントでは、森林インストラクターであり、日本自然保護協会自然観察指導員である当団体代表理事・木下潔が、野鳥観察のコツや双眼鏡の使い方、さらに、つくば地域の生物多様性の特徴やネーチャーポジティブ活動の大切さなどを愉しく・わかりやすく解説します。

【活動場所（市町村）】

・つくば市・洞峰公園

【寄付金の主な用途】

- ・野鳥観察用の双眼鏡・その他
- ・ポスター作成などの広告費
- ・教材の印刷代
- ・イベント支援のアルバイト代
- ・イベント保険
- ・ネーチャーポジティブ野鳥缶バッチ

【企業との連携】

- ・社員及びそのご家族の観察会への参加。
- ・連携企業様関係者を対象とした観察会及び ネーチャーポジティブに関するワークショップの開催。
- ・企業様ブースを設置していただくことも可能。



団体名（所在地）	特定非営利活動法人つくばいきものSDGs（つくば市）
設立（活動開始）年	2022年4月（任意団体 洞峰いきものSDGsの会として発足）
主な活動	・つくば市街地の都市公園の希少種保護・保全活動 ・市民参加型の動植物調査・観察会